

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	2	課題区分	C	令和5年(2023年)6月21日												
横断的な課題	4新型コロナウイルス感染症から県民の暮らしを守り、産業の下支えとコロナ禍からの復興																	
地域重点政策	3地域の強みを生かし健康をテーマとした観光地域づくり					上田地域振興局												
実施機関	上田保健福祉事務所			担当課	所属	健康づくり支援課												
事業名	世代別健康に配慮したメニュー普及				電話	0268-25-7154												
					E-mail	uedaho-kenko@pref.nagnano.lg.jp												
事業の概要	目的 (目指す姿)	信州ACEプロジェクト「健康に食べる」の一環として、地域の食材を活用しながら、ライフステージの健康等の課題に応じた具体的な健康に配慮した料理(メニュー)の普及により、食を通じた健康づくり・地域の活性化を図る。																
	現状と課題	<p>◎現状・課題</p> <p>上小地域では、脳血管疾患による死亡率が高く、「メタボリックシンドローム該当者」や「ヘモグロビンA1cが基準値以上の者」の割合が県下でも高い状況にある。その要因として考えられる脂質や食塩の過剰摂取を改善するための食生活の実践を進める必要がある。</p> <p>【上小地域の状況(標準化該当比:県を100として、40~74歳の状況)】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>男性</th> <th>女性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>メタボリックシンドローム該当者</td> <td>112.2</td> <td>113.8</td> </tr> <tr> <td>HbA1c(≥5.6%)</td> <td>107.6</td> <td>107.8</td> </tr> <tr> <td>高血圧(≥140/90mmHgまたは服薬)</td> <td>106.7</td> <td>106.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>資料:長野県健康福祉部他「令和元年度特定健康診査に係るデータ集計結果(協会けんぽ・市町村国保データ)」</p> <p>◎令和3年度実績・成果</p> <p>(1) ケーブルテレビによる啓発 8回</p> <p>新型コロナ感染症対策のため、家庭で食事をする機会が多くなっている中で、番組を通じて健康に配慮した料理と献立のアドバイスを発信、普及することができた。好評のためケーブルテレビからも継続の依頼がある。</p> <p>(2) 普及講座 12回 221人</p> <p>若い世代(高校生)2回、働き盛り世代 1回、シニア世代9回</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大により、計画していたものの中止になった講座があった。</p> <p>また、調理実習や試食ができず、制限の多い中での実施となったが、調理のデモンストレーションを行い実際の場面を見てもらいながら調理のポイントや献立を考える際の留意点を伝えたため、理解を得られやすく、参加者アンケートの結果では、参加者全員が食生活に「気をつけようと思った」「少し気を付けようと思った」との回答を得た。</p> <p>今年度も感染状況により実施に影響があると思うが、特に若い世代や働き盛り世代へ普及啓発ができるよう高校や企業等へ周知する予定。</p>						男性	女性	メタボリックシンドローム該当者	112.2	113.8	HbA1c(≥5.6%)	107.6	107.8	高血圧(≥140/90mmHgまたは服薬)	106.7	106.6
		男性	女性															
メタボリックシンドローム該当者	112.2	113.8																
HbA1c(≥5.6%)	107.6	107.8																
高血圧(≥140/90mmHgまたは服薬)	106.7	106.6																
内容 (変更後の内容)	<p>1 普及検討会の開催</p> <p>上小地域の健康課題の解決の推進を図るため、世代別メニューの有効な普及方法に関する検討会議を開催(1回)する。</p> <p>2 普及講習会の開催</p> <p>信州ACEプロジェクト「健康に食べる」の普及啓発のため、幼児から高齢者までの世代別に健康に配慮した料理(メニュー)レシピ等を活用して、コロナウイルス感染対策に配慮し調理のデモンストレーションや講義による普及講習会を開催(6種類×3回)する。</p> <p>3 テレビ広報</p> <p>世代別健康に配慮したメニューの普及促進のため、メニューをケーブルテレビで紹介(8回開催)する。</p>																	
事業期間	令和4(2022)年6月		~	令和5(2023)年2月		(単位:円)												
事業費等	事業を構成する細事業名等	実施内容		実績額	備考													
	世代別健康に配慮したメニュー普及事業	検討会議・講習会の開催、テレビ広報		340,000	世代別健康に配慮したメニュー普及事業業務委託費													
	合計				340,000													

指標及び達成状況	成果指標	目標値	成果	達成状況
	普及講習会の開催回数及び参加者数	18回 360人	12回 223人	○ 達成
	ケーブルテレビによる普及啓発の実施回数	8回	8回	● 一部達成
	「日頃食生活に気をつけていない」と回答した者のうち、改善への意識変容が見られた者の割合	80%以上	90%	○ 未達成
事業実績・成果	<p>【事業実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、普及講習会は思うように開催することができず、目標実施回数は達せられなかったが、企業・公民館・保育所・学校等との連携により12回実施することができた。(子育て世代2回、若い世代・高校生1回、働き盛り世代2回、シニア世代7回) ・講習会の実施時間を短くする必要があり、講習会実施後のアンケートの実施が困難であったが、回収できた47名のうち、「食生活に気をつけようと思った」・「少し思った」と回答した者は43名(91.5%)。「日頃食生活に気をつけていない」と回答した10名のうち、9名が「食生活に気をつけようと思った」と回答し、食生活改善のきっかけとなったと考える。 ・ケーブルテレビによる普及啓発は予定どおり8回実施し、放送の他に、ホームページでの発信も行った。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業を5年にわたり実施してきた。実施に当たっては、企業や学校、地域の公民館との連携を図ることができた。 ・集合での講習会が実施しにくいコロナ禍では、ケーブルテレビやホームページからの情報発信は有効であった。 ・世代別の健康に配慮したメニューや実践方法を掲載したリーフレットを作成し、それをもとに普及啓発活動を進めてきたが、リーフレットは栄養士会の活動だけでなく、市町村の乳幼児健診や健康づくり事業などでも活用され、市町村の保健活動の支援にもつながっている。(作成したリーフレット6種類 配布部数約7,700部) 			
今後の方向性	<p>世代ごとに異なる健康課題があることから、引き続き関係者と連携を図り、普及啓発を継続していく。データヘルスをすすめ、上小地域の健康課題と改善すべき標的に沿った事業を検討し実施していく。</p>			